

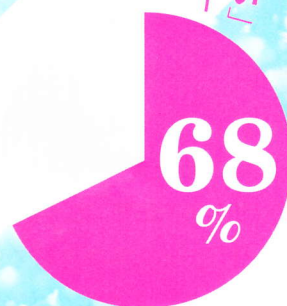
9条まもれ

2016 Summer

安倍改憲と安保法

「戦争する国」づくりに
NO!の選択を。

戦争か平和か。いま、違憲の安保法によって、
自衛隊はアメリカの無法な戦争に参戦させられる危険に直面しています。
この夏の政治戦——日本を「戦争する国」にする安倍暴走政治に
ノーの審判をくだすときです。



「朝日」5月3日付 世論調査

「二度と戦争しない」と誓った
憲法9条 次の世代にも
無傷でひきつぎましょう

安倍首相は、安保法にくわえ、明文改憲で、「二度と戦争しない」と誓った憲法9条を葬り去ろうとしています。党首討論で、共産党・志位委員長が「9条を変えるつもりか」との質問に、首相は最後まで「変えない」とはいいませんでした。自民党改憲草案は、9条2項を削除して「国防軍」を書き込むと明記。「海外での無条件の武力行使」に道をひらこうとしています。

安保法廃止で、日米同盟にヒビ？
「血の同盟」のために
憲法こわしていいのか

「安保法廃止で、日米同盟がこわれる」と安倍首相。「軍事同盟は、血の同盟」と著書に書いています。“いまの憲法解釈では、アメリカの戦争で日本の若者の血を流すことはない。それでイコールパートナーといえるのか”と。そんな「血の同盟」のために、憲法をこわすなど許されません。

「安保法廃止」「安倍改憲は許さない」で、野党4党は結束しています。野党が勝利すれば、「戦争する国」づくりにストップをかけることができます。



7.10 野党共闘にYES!



www.jcp.or.jp

しんぶん 赤旗

2016年7月号外

日本共産党の見解を紹介します。
あなたのご意見、ご感想をお寄せください。

発行●日本共産党中央委員会

〒151-8586 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-26-7
TEL 03-3403-6111 (代表)

日刊紙●月3,497円 日曜版●月823円

お申し込みはお近くの党事務所または
党員か左記の住所まで

日本共産党

自衛隊について、
共産党は
こう考えています。

1

「**憲法を守る**」
「**国民の命を守る**」
——**両方を追求**

私たちは、自衛隊は憲法違反の存在だと考えています。同時に、すぐになくすことは考えていません。国民の圧倒的多数が「自衛隊がなくても大丈夫」という合意ができるまで、なくすことはできません。将来の展望として、国民の合意で9条の完全実施に踏み出すというのが、私たちの方針です。

それまでは自衛隊が存続することになりますが、その期間に、万一、急迫不正の主権侵害や大規模災害などがあった場合には、国民の命を守るために自衛隊に働いてもらう——この方針を党の大会で決めています。

憲法を守ることと、国民の命を守ること——この両方を真剣に追求していきます。

3

野党共闘に、
安保条約廃棄、自衛隊解消は持ち込まない

自民・公明は、「安保条約や自衛隊など政策がバラバラだ」と野党共闘を攻撃しています。しかし、野党4党は、「安保法制廃止、立憲主義を取り戻す」という大義で結束しています。「立憲主義を取り戻す」とは、憲法を守るまっとうな政治を取り戻すということ。あれこれの政策の違いがあっても、それを横に置いてでも最優先でとりくむべき仕事です。

送らない
海外の戦地に
自衛隊員を

2
災害救援でがんばった

いま、問われているのは、自衛隊が違憲か合憲かではありません。戦後60年余の「9条のもとでは集団的自衛権は行使できない」という憲法解釈を変えて、自衛隊を海外の戦争に派兵することを許しているのか、どうかです。

「専守防衛」の志をもって入隊した自衛隊員、熊本の震災救援・復旧のために汗を流した自衛隊員を、海外の「殺し、殺される」戦場に送っていいかが問われているのです。

「こんなことは許せない」——この1点で、野党4党は結束し、安保法制＝戦争法の廃止、集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求めています。

この立場から、共産党は、野党共闘に、安保条約や自衛隊についての独自の政策を持ち込まないことを、当初から貫いています。

野党共闘は野合どころか、市民の願いにこたえ、日本に民主政治を取り戻す希望です。

日本共産党